

市政を問う

代表質問では会派を代表して5人の議員から市長と教育長の6年度施政方針について、一括または一問一答方式による一般質問では17人の議員から広範囲な市政課題について質問がありました。

※ 各議員の所属会派は各議員の一般質問日時点。

代表質問



千葉 伸行
(盛友会)

◆代表質問のポイント

- ・より優しくより強い盛岡創生元年の実現に積極姿勢で。
- ・盛岡経済の好循環に地場中小企業を重点にけん引的な施策を。
- ・いじめ対策は声の具現化にさらなる体制強化を。

市の総合的な計画の一体的整備

問 市まち・ひと・しごと創生総合戦略と市人口ビジョンを市総合計画と一体整備することで、一貫性のある取り組みとなるのでは。

答 人口対策の重点的な取り組みを政策パッケージとしてとりまとめているものだが、人口減少対策の取り組みを効率的に進めるため、計画の統合を検討する。

市認定フリースクールの利用補助

問 滋賀県草津市では市認定フリースクールを利用する場合に保護者へ補助金を交付しているが、本市でも導入しては。

答 フリースクールへの訪問など、検討に向けた調査を実施しており、認定基準や補助対象など、他都市の取り組みを参考にしながら、実施の可能性も含め検討する。

代表質問



兼平 孝信
(創盛会)

◆代表質問のポイント

- ・子育て政策、産業振興策実現に向けた財源などの確保策。
- ・安全なまちづくりのための社会基盤整備方針と防犯施策。
- ・多様な学びの場の確保策と学校の就労環境改善策。

新産業・物流拠点整備

問 道明地区新産業等用地第二事業区と盛岡南地区物流拠点整備の各事業の取り組み状況は。

答 第二事業区は6年度末の完了を目指し基盤整備工事を行っているほか、公募条件の精査を行っている。物流拠点整備事業は開発事業候補者と事業実施に関する協定締結に向けて協議を行っている。

市役所を挙げた防犯活動

問 安全安心なまちとするために、地域安全運動期間中、市役所を挙げて防犯活動に取り組んでは。

答 春の地域安全運動などの期間において、市庁舎入口にのぼり旗を掲げて運動について周知するとともに、職員も率先して自宅などの「鍵かけの励行」を行い、市役所を挙げて防犯活動を推進する。

代表質問



神部 伸也
(日本共産党市議団)

◆代表質問のポイント

- ・10月定例会の市長挨拶「子育てしやすいまちづくりは、本市が生き残っていくための切り札となる」の具体化を6年度当初予算でどう図ったのか。特に、市民の経済的負担の軽減策は全国でも広がり、本市でも必要。

子育てしやすいまちづくり

問 6年度予算編成で「子育てしやすいまちづくり」として、どのように留意し取り組んだのか。

答 子どもに優しく、子育てしやすい施設の充実を図るため、「こども相談室」の設置やこども食堂の補助団体の拡大、子育て応援在宅育児支援金の事業継続などを予算化した。

子どもの医療費の完全無償化

問 子どもの医療費助成制度の完全無償化を市独自に段階的に進めることへの所見は。

答 市総合計画にも位置付けており、制度の充実を図るべき事業である。段階的に完全無償化を進める場合でも、継続的に多額の財源が必要なため、子ども・子育て施策全体の中で優先度を判断する。

代表質問



中村 亨
(市政クラブ)

◆代表質問のポイント

- ・災害時の備えにトイレトレーラーの保有や建物などの耐震化は必須。努力して欲しい。
- ・フットサルができる場所がほとんどなく、試合形式の練習ができないのは問題だ。

トイレトレーラーの保有

問 能登半島地震では、自治体が保有するトイレトレーラーが被災地に派遣されている。本市も中核市として保有しては。

答 上下水道の復旧に時間を要する場合のトイレトレーラーなどの移動式トイレの有用性が再認識された。財源などの課題はあるが、導入事例などを調査し検討する。

フットサルが可能な屋内体育施設

問 屋内体育施設でフットサルの練習をしたいとの声がある。今後の体育施設の改築や複合化では、フットサルでの利用が可能な施設にすることを考慮しては。

答 施設利用者の増加が期待され、本市のスポーツの推進にもつながるため、費用面の課題はあるが、可能な限り対応する。

代表質問



太田 隆司
(公明党)

◆代表質問のポイント

- ・市民との座談会は、テーマ別に参加者を集めるなど工夫してブラッシュアップを。
- ・本市の小学校の最小は4学級、最大は33学級、中学校の最小は3学級、最大は27学級と地域差が顕著。早期の適正配置を。

市民との対話の今後の方向性

問 現在行っている「もりもり」～市長と語ろう！もりおか盛り上げ座談会～の今後の方向性は。

答 市長との距離が縮まったなど好評の声がある一方で、話す時間が短かったなどの声もあることから、今後は、参加人数など開催方法の改善を図りながら、引き続き市民との対話を大切にする。

小中学校の適正配置

問 児童生徒の減少が続くが、小中学校の適正配置について、中・長期的な展望は。

答 本市でも少子化に伴うさまざまな状況の変化が予想されているが、そのような中であっても、学校や地域の実情を踏まえ、子どもたちの教育環境が向上するよう、適正な規模の配置を検討する。



野田 尚紀
(盛友会)

高層マンションと都市景観の整合

問 市総合計画に景観保存対策の充実と良好な景観形成の誘導を明記しているが、高層マンションと都市景観の整合をどのように図るのか。

答 山並みの眺望確保などのため、一定の範囲内で高さを抑制している。歴史的な街路の沿道では、街並みに調和するよう誘導している。

地域を守る公共交通の在り方

問 民間事業者のみでの公共交通の維持は難しいと考えるが、公共交通の在り方への所見は。

答 各交通手段の特徴を生かした効率的な公共交通網が必要であり、新たな交通手段も組み合わせ、公共交通のグランドデザインとなる盛岡都市圏地域公共交通計画の策定に取り組む。

このほかの質問

- ・歴史的建造物を市が維持する方法
- ・景観保護のために市が選択できる規制方法



高橋 和夫
(日本共産党市議団)

農業再生などに向けた対策

問 農業者へできる限りの支援を行うなど、農業再生や生活向上に向けた対策が必要では。

答 食料・農業・農村基本法の改正を踏まえた取り組みを進めるとともに、6年度には、中小・家族経営農家なども対象とした地域みらい農業人材育成支援事業を新たに実施する。

憲法第9条下における現状と対処

問 憲法第9条では恒久平和主義を定めているが、防衛費の拡大など現状への所見は。

答 憲法第9条の下、国際社会で平和国家としての信頼や実績を築いてきたと認識しており、過去の悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、平和主義の原則を堅持していく必要がある。

このほかの質問

- ・中小零細企業の賃上げ支援に係る国への要請



歴史ある景観の保存対策を

◆用語解説

プレコンセプションケア

女性やカップルを対象に、将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み。早い段階から正しい知識を得て健康的な生活を送ることで、将来の健やかな妊娠や出産につながり、未来の子どもの健康の可能性が広がる。

(厚生労働省ホームページなどより作成)



細川 由香里
(れいわ from2 もりおか)

ミスさんさ踊りの応募資格

問 応募資格の性別や独身などの条件について、問題点や改善点があるが、所見は。

答 市の観光大使としての役割を担うなどの現状を踏まえると、ジェンダー平等などの観点から、性別や年齢、独身を条件とする必要はなく、多様性に配慮した募集とすべきである。

ミスさんさ踊りの市民意見の集約

問 市長選挙の際のアンケートで、市長はミスさんさ踊りの名称などは市民の意見を聴くと答えたが、今も同じ考えなら早急に意見集約し改善すべきでは。

答 今も同様の考えであり、市民の意見を聴くとともに、協議の場で検討する。

このほかの質問

- ・こども相談室の規模
- ・市長公約に関するロードマップ



鈴木 聖子
(公明党)

带状疱疹ワクチン接種への助成

問 带状疱疹ワクチン接種の助成について、自治体ごとに違いはあるが、市民の健康を何としても守るという観点から本市でも助成しては。

答 带状疱疹ワクチンの一定の効果は認識しており、他の任意接種ワクチンと併せて、他都市の状況も調査しながら、引き続き検討する。

プレコンセプションケア

問 プレコンセプションケアについての本市の今後の対応と所見は。

答 6年1月に庁内で情報交換会を実施しており、産科医療機関や県などと連携を図りながら、幅広い世代に、妊娠、出産を含めた心と体の健康に目を向けてもらえるよう取り組む。

このほかの質問

- ・災害ケースマネジメント検討状況
- ・ケアリーパー支援の具体化
- ・図書館の今後



千葉 順子
(盛友会)

6年度当初予算案の市長公約事業

問 公約に伴う新規事業の財源や成果の査定方法と新たな市総合計画との整合性の図り方は。

答 国の補助金などを確保しながら、将来を見据えて優先的に着手すべき事業を予算化した。市長公約新規事業は現行計画で重点取組事項としており、新計画でも重点実施する事業とする。

県央ブロックごみ処理施設

問 新たな施設の公害防止基準値は、同規模施設などとの比較検討により決めるべきでは。

答 安全安心のため、法令よりも厳しい自主基準値の設定が望ましい。施設整備検討委員会に、同規模施設などの基準値との比較資料を根拠に示し、委員会において丁寧に協議する。

このほかの質問

- ・ごみの最終処分
- ・ふれあいパーク計画の検討
- ・除雪対策の他都市との比較検討



佐藤 明彦
(盛友会)

動物愛護センターの整備

問 県と市が共同で整備予定の動物愛護センターは、市民や動物愛護団体の希望である。施設整備に懸ける本市の決意は。

答 6年度中の基本計画策定を目指し取り組んでいる。動物愛護と適正飼養の普及啓発拠点施設となるセンターの早期実現に向け注力する。

実効性のある景観計画

問 歴史的な街路の良好な景観形成のため、実効性のある市景観計画にすべきだが、建築規制のガイドラインの策定など想定される手法は。

答 建築物の形態意匠などの誘導のため、都市計画法に基づく景観地区や地区計画のほか、住民による自主的な景観協定などの手法がある。

このほかの質問

- ・空き家対策専門家との地域連携協定締結の可能性
- ・空き家対策の民間事業者との連携



寺長根 浩
(創盛会)

バイエル社CEOの発言

問 ダボス会議でバイエル社CEOが、アジアの水田稲作が温室効果ガスのメタンを発生させ、地球環境を破壊している原因の一つだと発言しているが、見解は。

答 農業の生産性と環境保全の両立について問題提起した趣旨の発言であると認識している。

岸田首相の発言

問 共生社会と人権に関するシンポジウムで、日本人が外国人などへ差別や犯罪行為をしていると岸田首相が断定的な発言をしたが、所見は。

答 差別や偏見などへの首相の認識を述べたもので、いかなる社会でも差別や偏見など、それに伴う犯罪は決してあってはならない。

このほかの質問

- ・弾道ミサイルなどへの対策
- ・市民に拉致被害が発生した場合の対応と事前対策

市政を問う



佐藤 尚弘
(日本維新の会)

子どもの遊び場

問 子どもの遊び場の政策的位置付けと、県の遊び場補助事業の活用についての所感は。

答 遊び場の充実は、子どもの成長を支える重要な取り組みである。県の補助事業は既存施設の改修などに活用できるため、市の施設への活用を検討し、遊び場の魅力向上に取り組む。

インクルーシブ保育の実現

問 発達の特徴などに関係なく互いを認め合うインクルーシブ保育の実現には、手続きが困難であるなど制度の目詰まりがあるが改善策は。

答 保護者の理解が進むよう乳幼児健診などを活用するとともに、6年度からこども家庭センターで専門員による相談支援にも取り組む。

このほかの質問

- ・子どもたちを交えた遊び場に関する議論の場づくり
- ・空き待ち児童に対する工夫と改善



鈴木 努
(日本共産党市議員)

医療的ケア児の就園支援

問 医療的ケア児の就園に係る要望書が市に提出されたが、訪問看護ステーションと協力し、希望の保育所に入所できる仕組みを構築しては。

答 導尿や経管栄養などの比較的短時間かつ定時の対応は可能であり、必要とするケアの内容や保育所の受け入れ態勢を考慮し検討する。

給食費の値上げをしない対応

問 物価高騰が続いているが、市長は公約で給食費の無償化を掲げていることから、給食費の値上げをしない対応をすべきでは。

答 物価高騰下における保護者負担軽減のための財源措置について、中核市教育長会や全国市町村教育委員会連合会を通じて国に要望する。

このほかの質問

- ・シルバーリハビリ体操
- ・JR仙北駅駅の無人化後の人員配置支援



バス路線の存続を



三田村 亜美子
(日本共産党市議員)

生活保護利用者へのエアコン設置

問 平成30年3月以前からの生活保護利用者が設置補助対象外であることへの認識と、自宅での熱中症による死亡事故を防ぐ取り組みは。

答 国は開始時期で区別せず、すべての利用者を対象とすべきである。設置補助対象外者には生活福祉資金貸付の利用を呼び掛けている。

岩手県交通の路線バス減便

問 4月のダイヤ改正に伴う廃止路線の存続を求める住民などが提出した要望書への所見は。

答 廃止路線の利用状況や不安な思いを理解した一方、バスに限らない移動手段の検討などが必要であり、自家用車がなくても安心して移動できる交通環境の構築が必要だと再認識した。

このほかの質問

- ・自治体DX
- ・会計年度任用職員の勤務実態
- ・気候変動対策の取り組み



庄子 春治
(日本共産党市議員)

自衛隊への情報提供

問 防衛大臣の要請で市が18歳になる市民の氏名などを自衛隊に情報提供しているが、提供を望まない市民を除外することへの検討状況は。

答 情報提供対象者から除外するための申請の受け付けを6年度から実施する。申請方法などは市ホームページや広報でもりおかで周知する。

重度心身障がい者医療費助成

問 全国的に精神障害者保健福祉手帳保持者への医療費助成が拡大している。本市でも医療費助成の対象としては。

答 対象者を見直す場合は、新たな財源が必要となることから難しい。全国市長会を通じ、全国一律の助成制度の創設を引き続き要望する。

このほかの質問

- ・盛岡城跡公園のPark-PFI事業の計画撤回原因と市の責任
- ・不登校対策



山崎 智樹
(盛友会)

市子ども未来基金

問 現行の市子ども未来基金は、子どもたちの自主的な活動を応援するものではないが、子ども主体の提案も受けるものに変更しては。

答 子どもが多様な社会的活動に参画する経験は、未来のまちづくりを担う人材育成につながる。他市の事例を参考にして取り組む。

医療的ケア児の保育所などの入所

問 保育所の見学もできず、不安を感じている医療的ケア児の保護者がいるが、医療的ケア児が保育所などへ入所する際の課題は。

答 人員的な課題から、受け入れは一部施設にとどまる。公立保育所で検討や取り組みを重ね、ノウハウを周知し受け入れ拡大につなげる。

このほかの質問

- ・総合計画の市民への浸透状況
- ・学習用端末での電子化した先人情報の共有



中村 雅幸
(市政クラブ)

観光客への公共施設トイレ案内

問 屋外の公共施設トイレが破損などで使用禁止となっている状況が散見されるが、使用可能なトイレの観光客への案内方法は。

答 市ホームページや観光ガイドブックに表記し、情報提供に努めている。今後は、デジタル観光マップなどへの表記を検討する。

支援が必要な子どもに必要なこと

問 支援が必要な子どもの特性を伸ばし、安心して生活するために必要な取り組みは。

答 共生社会の形成に向けて、特別支援教育の推進が必要である。今後は、子どもとその家族に寄り添った支援の充実を組織的に行いながら、安心して学校生活を過ごせるよう努める。

このほかの質問

- ・利用できない屋外の公衆トイレ数
- ・統合型校務支援システム導入に係る学校への支援



豊村 徹也
(創盛会)

盛岡南地区物流拠点整備

問 開発事業候補者は他都市でも整備実績があるが、先行事例での事業者と市の役割分担は。

答 候補者の実績は民間主導型開発のみであり、公民連携による事例はないが、公共インフラ整備費用を市が負担する方式により、産業用地の整備に取り組んでいる事例はある。

救急車出動件数と搬送人員の増減

問 令和3年以降の救急車出動件数や搬送人員の増減要因をどのように分析しているのか。

答 本市に限らず全国的に令和2年に減少したが令和3年から増加傾向である。高齢化や気候の変化、感染症に伴うものなど、さまざまな要因が複合的に影響していると分析している。

このほかの質問

- ・土砂災害防止法
- ・上下水道などの耐震化の取り組み
- ・こども相談室と児童相談所

※一般質問の録画映像を配信しています。
スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



会派の意見

本会議において、各会派が市長提出議案などに対して意見を述べる討論が行われました。各会派の討論の要旨をお知らせします。
★すべての議案番号と議案名は、8ページに一覧表として掲載しています。

盛 友 会

全議案に賛成

議案第2号は、空き家対策等適正管理事業について、法改正に伴う管理不全空き家への指導など適切に実施し、空き家などの利活用に関して、関係団体との連携推進や、管理活用支援法人の指定を早急に検討されたい。動物愛護センター整備について、整備候補地選定に遅れが生じているが、県との調整を円滑に進め、動物愛護センター基本計画の策定に早急に着手されるよう努力されたい。議案第38号は、小中学校のトイレ改修事業など積極的な事業化を評価するが、景気の伸び悩みなどの課題もあり、引き続き環境変化に対応した積極的な財政運営に取り組まされたい。

創 盛 会

全議案に賛成

議案第2号は、4年度、5年度に次ぐ過去3番目に大きい予算規模となっている。教育振興運動事業では、コミュニティスクール導入を実効性のあるものにすべく、導入済みの学校との連携を密にし、その成果や課題を十分検討され取り組まされたい。議案第12・13号は、経営健全化に向け料金の妥当性の検討を都度行うことは当然であり、「水道・下水道ビジョン2045」の策定に強力に取り組まされたい。議案第38号は、トイレ改修事業に小中学校合わせて3億911万8千円が計上されているが、予算成立後は早期に改修され快適な学校生活になることを期待する。

日本共産党市議団

一部議案に反対

議案第2号は、いじめ対策など一定の前進を評価するが、市長が公約として掲げたチェンジの姿勢が見られない。学校給食費無償化を公約に掲げているのであれば、無償化が実施されるまでの間は、物価高騰による学校給食費の値上げを回避するため、食材費補助を継続すべきである。また、チェンジすべき前市長の政策が継承され、ごみ処理広域化を推進する予算が計上されている。ごみ処理は、脱炭素化、資源循環の一層の推進が求められているが、現在の計画はごみの発生抑制や処理量の低減を図る視点が欠けている。広域化事業を大本から見直すよう求める。

市 政 ク ラ ブ

全議案に賛成

議案第2号は、6年度当初予算について、引き続き厳しい財政状況であり、財政調整基金などを取り崩した予算編成であることから、行政コストの検討や予算配分の重点化を図り、持続可能な行政サービス実現に向けた効率的な行政運営に努められたい。議案第17号は、慢性的な人員不足の中、職員のモチベーションやメンタルヘルスの確保のため、業務量の見直しなど労働時間の一層の縮減に努められたい。議案第38号は、市道の穴ぼこが散見されており、市民の生活社会基盤の根本である市道の管理に万全を尽くされたい。

公 明 党

全議案に賛成

議案第2号は、4年度、5年度当初予算に次ぐ3番目の予算規模であるが、市民生活・地元経済にとって重要な意義を持つことから、可及的速やかな事業実施を求める。乳幼児健康診査事業について、いつでも相談できる「もりっこ健診」の推進を高く評価するが、就学前に発達障がいなどを早期に発見し、安心して就学できるようにするために、5歳児健診の導入を検討されたい。議案第38号は、6年9月までにHPVワクチンの初回接種が必要なキャッチアップ接種対象者が1万人以上いるが、郵送による個別通知の実施を再度検討し周知に努められたい。

ムービングハウスに関する協定



池野 直友
(公明党)

問 災害対策として日本ムービングハウス協会と結んだ協定の内容は。

答 災害時の応急仮設住宅として、市の要請により、協会を通じて協会会員である住宅建築業者がムービングハウスを建設する。避難生活の早期解消や健康被害の軽減などが期待される。

認知症対策の取り組み

問 これまで実施してきた本市の認知症対策の取り組みの概要は。

答 もの忘れ検診の実施や認知症サポーター養成講座の開催、認知症カフェの周知などに取り組んだほか、市庁舎や公民館など5カ所でパネル展示を行い、認知症への理解増進に努めた。

このほかの質問

- ・今後の認知症対策で力を入れる内容
- ・もりおか健康21プラン



災害時の協定を締結



橋の維持



田山 俊悦
(盛友会)

問 大小問わず、地域にある橋は大切だが維持は非常に大変である。今後も橋を維持するための予算確保や取り組みの状況は。

答 厳しい予算状況ではあるが、国の補助などを活用し、利用の多い橋や古くて重要な橋などを優先的に修繕する。

手話言語条例の制定

問 県が手話言語条例制定に向けた骨子案を示したが、本市でも条例制定に向けて関係者と協議するなどの取り組みをしては。

答 本市の役割や具体的な取り組みの方向性を明らかにした上で、条例制定の効果について関係団体から意見を聞き、検討する。

このほかの質問

- ・地域の状況を考慮した橋の工事
- ・徳田橋の事業
- ・本市の手話通訳者の体制と状況

裏金問題に対する市の認識



野中 靖志
(市政クラブ)

問 自民党の裏金問題は、国会議員からも脱税に当たると指摘があるが、市の認識と所見は。

答 収入の一部が政治資金収支報告書に未記載であることや用途が不明確であることなど、法令違反の恐れと政治への不信感を招いており、迅速な調査と国民への十分な説明が必要である。

裏金問題の影響に対する申し入れ

問 裏金問題の徹底究明や予算審議時間の確保などを中核市市長会を通じて申し入れては。

答 国会審議が停滞するなど必要な場合は、対応について中核市市長会へ相談する。今般の一連の問題については、国政の場で十分論議し、国民の理解を得られる形で進めるべきである。